

## 一般質問通告書

通告順番 1 番  
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 20年、30年先を見据えた、JR肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）周辺の将来ビジョンについて</p>	<p>(1) JR肥後大津駅（阿蘇くまもと空港駅）の利便性を向上させるために再整備し、医療・福祉・公共施設・商業施設など点在する都市機能を駅周辺に集約させるとともに、公共交通ターミナルをつくり、そこを起点として町内の南北地域や菊池・阿蘇などの観光地域とのネットワークを再構築すべきではないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 将来世代の視点から町の政策を考える「フューチャー・デザイン」手法の活用について</p>	<p>(1) 現世代の近視眼的な対応や意思決定が、将来世代に大きな不利益をもたらす可能性がある。このような課題を乗り越え、将来世代につながる持続可能社会を形成するために、フューチャー・デザイン手法を活用すべきではないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 外国人等の観光客に対する災害時の危機管理について</p>	<p>(1) 地域防災計画に、外国人等の観光客に対する避難場所・避難経路などの計画を定めるべきではないか。</p> <p>(2) 地域防災計画に、外国人等の観光客への情報伝達に関する計画を定め、多言語標識や多言語からいもくん便り配信システムを整備すべきではないか。</p> <p>(3) ホテル協会等との協定を結び外国人等の観光客に対する防災や、災害時の支援体制を整備すべきではないか。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>4. ご遺族の負担を軽減するため、おくやみ手続きを効率的に行えるような仕組みづくりについて</p>	<p>(1) お客様シートに死亡者の氏名や生年月日などの必要事項を書き込むと関係書類が一括作成されるシステムに改善するとともに、煩雑な手続きを手助けする「おくやみコーナー」を設置すべきではないか。</p> <p>(2) 手続きをする際に活用できる「おくやみハンドブック」を作成すべきではないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. バス路線の新設とバス停の名称変更	<p>(1) J R 肥後大津駅は朝5時から夜は12時まで電車の乗り入れがあり、朝の6時から8時までと夕方4時半から8時頃は利用者が非常に多いため、近距離の周遊バス路線の新設をして利便性向上を考えてみてはどうか。</p> <p>( J R 肥後大津駅⇒翔陽高校⇒上松古閑⇒美咲野団地⇒上鶴⇒大津中央⇒ J R 肥後大津駅)</p> <p>J R 肥後大津駅から路線バスを利用する本田技研熊本工場利用者の利便性を考え、現在の水迫バス停を本田技研熊本前に名称変更してはどうか。</p>	町 長
2. 町にある文化財を町指定の文化財へ	<p>(1) 町には町指定の文化財や隠れた文化財がある、その文化財を未来の子孫に残すために、助言や補助事業を考えてはどうか。</p>	教 育 長
3. 新たな観光地の発掘	<p>(1) 本田技研熊本工場などは単車の世界のマザー工場であり、海外の旅行者には観光地になる。もっと発信すべきではないか。</p>	町 長
4. 小中学校の防犯セキュリティ向上	<p>(1) 大津町の小中学校の防犯セキュリティを菊陽町の小中学校の防犯セキュリティレベルまで高め、子供たちの安全を確保すべきではないか。</p>	教 育 長

一般質問通告書

通告順番 3 番  
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 町営住宅の入居承継基準	<p>(1) 大津町の町営住宅条例には、入居の承継について明確な基準がない。住宅入居者から「役場から親子の入居の引き継ぎはできない」と言われ、途方に暮れている人もいる。</p> <p>入居者の居住権は、きちんと保障されるべきだと考える。法律にも条例にも、規則にもない住宅入居者の承継基準を明確にわかりやすく制定すべきではないか。</p>	町 長
2. 国道代替道路の危険回避を	<p>(1) 町道新小屋桜山線は高尾野区の住宅地の真ん中をとおり、熊本地震以来、事実上国道の代替道路となっている。交通量も大型車両の通行も大きく増加して、歩行者や自転車、バイクの通行は危険を伴い交通事故が日々心配される。町道南側には深さ1mの側溝があり、大雨の時は道路まで冠水する。子どもや高齢者が転落すれば、下流の暗きょ水路に流れ込み、上井手まで流されてしまう。</p> <p>① 町として国にも要望し、側溝に蓋をして歩道の整備を進める。</p> <p>② 町道南側の通称開拓道路が国道の都合でクランク状にまげて付け替えられたが、これまで直線で通れた大型の車やトラクターなどは通行できない。道路の南側の宅地や農地に行くにも支障をきたす。本来元の直線で道路を確保する責任は国にある。国道と西の進入路との間に代替えとして進入路を確保する責任がある。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 3 番  
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 豊肥線復旧を望みながら</p>	<p>(1) JR豊肥本線が熊本地震によって不通となり、やがて3年。一刻も早い復旧を誰もが願うところだが、電車が通らない今だからこそできることとして、図書館と中央公園に跨線歩道橋を計画したらどうか。                      また、線路敷きはこれからも草が繁茂する。JRと相談して、線路除草ボランティア作業を企画すれば、鉄道への愛着も美化にも役立つのではないか。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 施政方針について	<p>(1) 施政方針は総花的にならざるを得ないが、各所に今後の財政的不安がうかがわれ、住民自治が強く求められると感じる。40年間の公共施設等総合管理計画と照らし合わせれば、しっかりとした行政運営で無駄を省き必要最低限の行政経費にする経営戦略が求められる。 各事業の公益性の検証を強めて、廃棄と刷新を進め引き締まった財政運営としなければならない。</p>	町 長
2. 阿蘇くまもと空港アクセス問題	<p>(1) 大津から空港利用を増やすには北部に位置する菊池市との経済連携が有効と考える。水、温泉、歴史、雄大な自然、県立高校、まさに大津町と一緒に多くの固定資産を持ち、企業も観光も興味を示す地政学的優位性がある。経済活動や観光のゲートウェイとしての視点を持ち、空港ライナーや鉄道延伸などの人の輸送の論点を、物流も含めた万能ルート構想で大津町の価値を高めることが重要と考える。</p>	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 5 番  
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 第6次大津町振興総合計画・基本構想・前期基本計画について問う                      （産業の活性化について）</p>	<p>(1) 社会情勢の変化や三里木からの鉄道延伸等々で周辺自治体との競争の激化により、厳しい経営環境に置かれている事業者（地域の中小企業）への支援策や活性化策が必要となってくるが、町長の見解を伺う。</p> <p>(2) 中長期的視点に立った地域経済活性化のため、「新事業・新産業の創出」、「経営革新と産業人材の育成」、「地域商業・サービス産業の振興」等の本町独自の基本戦略はあるのかを伺う。</p> <p>(3) 新規就農者支援体制の整備について具体的な支援策を伺う。</p> <p>(4) 鉄道延伸（三里木）の影響で人の流れが変化し、本町の将来人口推計が悪い方向（人口流出）に向かう可能性も予想される。若い人たちが地域定着・還流に向かう魅力的な仕事づくり・働く場が必要となるが、現在の雇用促進策を強化する必要性があるのではないかと伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 第6次大津町振興総合計画・基本構想・前期基本計画について問う                      （男女共同参画社会実現に向けて）</p>	<p>(1) 女性職員の活躍の推進に向けた数値目標の達成状況は。</p> <p>(2) 男性の育児休暇の取得率とイクボス宣言の取組は。</p> <p>(3) 男女共同参画推進体制の目標の達成状況は。また、行政区嘱託員・区長等の女性登用状況は。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 5 番  
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 空港延伸（空港アクセス鉄道）について、大津町の今後の対応を問う</p>	<p>(1) 阿蘇くまもと空港アクセス改善に係る県の方針等の説明をふまえ、阿蘇・南阿蘇地域等々の近隣自治体と連携し、阿蘇・大津地域への観光振興につなげる施策が必要ではないか。町長の見解を伺う。</p> <p>① 県もJR九州も減便ありきでは考えていないと説明しているようだが、県に対して、絶対に減便しない確約を取るべきではないか。</p> <p>② 車両点検等でアクセス鉄道の車両が豊肥線に乗り入れるなら、大津方面へ乗り入れ（三里木～肥後大津間複線化）し、空港から阿蘇・南阿蘇鉄道への直通列車運行（特急列車・観光列車等）を県に提言すべきではないか。</p> <p>③ スポーツの森新駅の設置を改めて提言する。</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 6 番  
 通告者 三宮 美香 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 教職員の働き方改革を進めるサポート体制づくり</p>	<p>(1) 昨年7月に働き方改革推進法が成立し、関連する労働基準法の規定が大幅に改正されることになった。学校における働き方改革についても、今年1月に中央審議会で答申が取りまとめられた。昨年3月、同僚議員からの教職員の働き方改革についての質問に対して、教育長は「教職員の超過勤務については、その実態を踏まえ、校内における業務の役割分担の見直しと業務遂行の効率化を図り、具体的な削減目標の設定などを通して業務の総量を削減するなど、働き方改革をさらに推進したい」と回答され、「教職員サーバーを活用し、町内の教職員が作成した教材や指導案の共同利用のためのデータベースの整備を図りたい」とも回答された。</p> <p>これらは、子どもたちへの高い教育を提供するために必要かつ大切な内容であるが、決して一朝一夕に解決できるものではないため、それぞれの実施項目と効果のある期間連続して集めておくことがPDCAを高速に回して改善していくためにとても重要だと考える。</p> <p>また、一方で、例えば教職員の病気時の対応についても、今冬のインフルエンザの大流行の影響を受けて教職員の休業への対応が不十分のように感じたという意見を頂いている。</p> <p>① 昨年度の超過勤務の状況と今年度の比較</p> <p>② 具体的な削減目標とは</p> <p>③ 実態を調べた結果、超過勤務の原因となる要素は何だったか</p> <p>④ 教材や指導案を共同利用することで、どの程度の効果が得られたのか</p> <p>⑤ 教職員がインフルエンザに罹患した場合の対応</p>	<p>教育長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 7 番  
 通告者 金田 英樹 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 今後10年に向けた大津町の都市計画戦略</p>	<p>(1) 熊本空港へのアクセス線が三里木駅からの分岐延伸となることが県、JR九州間で合意された。新路線沿線の住宅・商業地域開発などの方針は示されていないが、いずれにしても移住や観光面など当該路線による本町への影響は少なくないと思われる。一方で、国道443の4車線化や、中九州横断道路の開通およびIC設置など明るい話題もある。いずれも10年前後での完成が見込まれ、今後の都市計画においては、こうした諸々の動きを織り込むことが不可欠である。以上を踏まえ、次の内容について町長の考えを問う。</p> <p>① 中九州横断道路（IC）を生かした企業誘致および北部工業団地の新設</p> <p>② 杉水ICおよび空港への好アクセスを生かした、国道443への海外を含む町外民の誘引・消費が期待できる特異性のあるモール誘致</p> <p>③ 不通のJR豊肥本線（阿蘇方面）の早期開通・電化に向けた関係自治体との連携</p> <p>④ 新駅設置が計画されている熊本県民総合運動公園とスポーツの森の連携によるシナジー発揮に向けた県との協議</p> <p>⑤ 新庁舎と駅南北商店街のエリアマネジメントおよび公民連携による賑わい創出（紫波町オガールモデル）</p> <p>⑥ 北部・南部・中部をつなぐ公共交通体系</p>	<p>町 長</p>

## 一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 金田 英樹 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2. ふるさと納税の規制強化に合わせた町の新戦略	<p>(1) 2019年は還元率3割超え、または、地場産品以外を返礼品としている自治体は寄付控除の対象から外れるという法改正が予定されている。この流れは還元率を順守している当町にとっては朗報である。</p> <p>現在は返礼品に加えてAmazonギフトを送る泉佐野市への寄付が2018年度は360億円を超える見込みであるなど、返礼率の高い自治体に寄付も集中しがちである。しかし、返礼品の価格帯が統一される今後は、如何に寄付者の興味・共感を得るための発信力・アイデアを高めていくか、あるいはどういった層に強くアピールしていくか等の行政マーケティング戦略が一層重要となり、時流に乗ることで大幅な税収増も期待できる。</p> <p>以上を踏まえ、次の内容について町長の考えを問う。</p> <p>① 商品の一層の充実化および魅力的なパンフレット等の作成</p> <p>② 町出身者からの寄付拡大（対象者への多様なアプローチ、郷土を応援する具体的な用途指定の充実）</p> <p>③ 新設の「肥後おおづスポーツ文化コミッション」との連携など、町の交流人口（ファン）からの寄付獲得</p> <p>④ 委託およびインセンティブの設定による活性化（宮崎県新富町モデル）</p>	町 長

## 一般質問通告書

通告順番 8 番

通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 不登校児童・生徒への支援の在り方について</p>	<p>(1) 不登校の児童・生徒が学校以外での学習をした場合、一定の要件を満たせば校長の判断で「出席扱い」とすることが可能となる。 この制度をしっかりと活用し、児童・生徒を支えるべきではないか。</p>	<p>教 育 長</p>
<p>2. 災害備蓄計画は怎么样了のか</p>	<p>(1) 長く課題であった災害備蓄計画がようやく策定されると聞いた。 しかしこれまでの進め方には一貫性に欠ける点や、説明が不足している点もある。 これまでの経緯を踏まえ、改めて災害備蓄の考え方を説明すべきと考える。</p>	<p>町 長</p>